

市長 來住 壽一  
災害に備えて

市長室から見える景色は、やわらかな新緑に包まれています。躍動の時を迎えました。

先月13日の早朝、淡路島を震源とする強い地震で、西脇でも震度3を観測しました。18年前の阪神淡路大震災を思い起こされ、恐怖心を抱かれた方が多いのではないかと心配しました。幸い、市内では、被害は発生しておりません。しかし、未知の断層があるのを知り、地震に強いとされる西脇でも、万全の備えが必要であると再認識したところです。

もうすぐ、皆さんのお宅に洪水土砂災害と地震災害の2種類のハザードマップをお届けします。平成16年23号台風の激特事業の完成による浸水区域の見直し、新たな土砂災害警戒区域の県の指定により改定しております。

万一の災害に備えて、避難場所や危険個所の確認、そして、日ごろからの備えや対応について、ご家族でよく話し合ってください。

洪水は、被害発生までに対応する時間が取れますが、地震は発生と同時に被害が出ます。特に、昭和56年以前に建築された家では、耐震診断を受け、適切に改修しておくことが大切です。

13日には、野村橋の完成渡り初め式が予定されていましたが、地震対応のため、急遽、中止となりました。渡り初めをお願いしていた野村町在住の石井克己さん三夫婦の皆さんにご迷惑をかけました。お許しください。

西脇市史の中に、昭和10年に、野村橋の渡り初めをした記録があります。70年以上にわたって地域の交通を支えてきた橋ですが、あまりに橋脚が多いため、激特事業に合わせて架け替えられました。

また、左岸の県道黒田庄多井田線は、堤防のかさ上げを兼ねた道路改良が進められており、今年中には、歩道のある立派な道路に生まれ変わります。今しばらく、ご辛抱ください。

新野村橋が、幾世代にわたって、地域の皆さんに親しまれ、地域の発展につながることを期待しております。

ご家族おそろいになって、ゴールデンウィークを存分にお楽しみください。

もうすぐ「こどもの日」を迎えます。「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかると」ことがその趣旨です。子どもの幸福について考えていると、アジア最貧国といわれるバングラデシュの子どもたちを支援されている方のお話を思い出しました。国民の約半数が文字を読めないという現実が国の貧困につながっていることから、教育支援を始められました。

まず文房具を送ることから始められ、学校建設に取りかかられました。今では五つの学校が完成し、徐々に学ぶことのできる子どもが増えていきます。教科書は数人で一冊を使い、鉛筆やノートもない子もいるそうですが、授業を受ける子どもたちの目はキラキラと輝き、驚いたり笑ったり生き生きと学んでいます。きっと国の将来を支える大人になるという嬉しい予感を抱かせてくれます。

日本でも、子どもの教育をめぐめる問題は多様化、複雑化しています。例えば、経済的、社会的貧困と子どもたちの健全育成の問題が、全国的に改めて問い直されようとしています。

今年度、西脇市では、いい「顔表情」の子どものための育成を教育指針の一つに掲げています。「こどもの日」を迎えるにあたり、この目標を実現するため、一人ひとりが自らを見つめ直し、ともに考え行動していきたいと思えます。

どの国においても、子どもは未来を支える大切な存在です。自分の能力を十分に発揮し、自分の夢をかなえることができるように、みんなで支えていきましょう。

◆問合せ 西脇市消費生活センター(生活環境課内) ☎22-3111

心のスケッチ  
62  
人権教育室コラム  
「こどもの日」に思う〜世界の国の子どもたち〜

かられました。今では五つの学校が完成し、徐々に学ぶことのできる子どもが増えていきます。教科書は数人で一冊を使い、鉛筆やノートもない子もいるそうですが、授業を受ける子どもたちの目はキラキラと輝き、驚いたり笑ったり生き生きと学んでいます。きっと国の将来を支える大人になるという嬉しい予感を抱かせてくれます。

毎年5月は「消費者月間」です。消費者、事業者、行政が一体となって消費者問題に関する啓発や教育を集中的に行います。



西脇学校給食センターの隣地に建設中の新センター

西脇学校給食センターは昭和45年の建設からすでに40年以上が経過しています。建物や設備の老朽化、衛生水準、作業効率など抜本的な更新の時期を迎えています。



新築された西脇南中学校

好きです! にしわき!  
わたしのふるさと

教育委員会や学校園のホットな情報をお知らせします。

今、この時を輝いて生きる  
次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり

児童・生徒の皆さんが安全で安心な学校生活を送るために、また、学校は災害発生時には地域の皆さんの避難所としての役割を果たすことから、市では学校施設の耐震化を進めています。

また、国の緊急経済対策で措置された補正予算を活用して今年度、小中学校全校に空調設備を整備します。

教育環境の整備を進めています

市では、子どもたちが安心して学習できるよう教育環境の整備を進めています。学校の耐震化は、平成20年の西脇小学校北棟を皮切りに集中的に工事を進めてきました。西脇南中学校の改築を進めるなど、平成24年度末で西脇小学校木造校舎を除いて、小・中学校では90%に達しています。今後は重春小学校の耐震化を進め、平成26年度末には100%に達する見込みです。

あぐりコラム 57

農業には  
魅力がいっぱい



西脇市では、今、農業振興を主要施策の柱の1つに位置づけ、さまざまな事業を推進しています。このコラムでは、農業に関係するいろいろな情報をお知らせします。

黒田庄和牛からの完熟堆肥「ゆめあぐり西脇」などの有機質資材を栽培に利用していること、化学合成農薬などの使用回数を慣行栽培より3割以上減らした栽培方法であることなどを要件とする、新しい西脇市内産農産物のブランド制度「西脇ファーマーズブランド」が4月からスタートしました。

「西脇ファーマーズブランド」～自然の恵みを人から人へ～

安全・安心に加え、美しい西脇の自然を次世代につなぐための資源循環型の栽培を広げていきます。



4つの花弁は四季を、中心の「〇」部分は「日本のへそ」を表現しています。西脇の地に咲いた一輪の花が、市内全域へ、そして全国へと広がることを期待しています。